

あつちのまちもやろうや あんたもやろうや いしいやまづくりに
かえる
輝け いしいやま！  宣言

飯山市

ごあいさつ

平成五年、私たちは、「ゆと住むまち 新・生活実感都市 飯山」をテーマとした第三次総合計画を策定しました。以来十年間、お年寄りから子どもまで、健康で明るく、そして郷土を美しく賑わいのあるまちにするべく、市民の皆様とともに歩んでまいりました。

そのなかで、私たちは、四季折々の彩りを鮮明にする美しい自然景観、長い歴史によって育まれた伝統文化、雪国の厳し自然環境のもとで培われたあたたかい人情など、たくさんの飯山の「宝」を見出し、その宝にふれるため、全国各地からたくさんの人々が訪れています。

そしてこのたび、「輝け いいやま! かえる宣言」と題した第四次総合計画をまとめました。これは飯山市が目指す姿を描く基本構想を中心とした、今後十年間にわたる計画ですが、なかにはさらに長い年月を必要とするものもあるでしょう。五十年、百年と輝きつつけるために、市民の皆様と協働するまちづくりを進めて参る所存です。今後のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の総合計画をまとめ上げるにあたり、当初段階から関わっていただき、計画に関する提言をいただいた21プラン市民会議の皆様、また、熱心な審議をいただきました基本構想審議会の皆様に、心からお礼申し上げます。



平成 15年 2月

飯山市長 木内 正勝

かえる



輝け いいやま！ 宣言

～ おらもやる あんたもやろうや いいやまづくり ～

飯山市第4次総合計画の性格と視点 ----- 2

飯山市第4次基本構想

2003～2012 年度の10年間

1. いいやまづくりの基本的な考え方と将来のすがた ----- 4

未来の子どもたちへの贈りもの『5つのかえる』

元気でたくましい「いいやま」にかえる

いいやまの宝を財産にかえる

空と大地にとけ込む心地よいまちにかえる

思いやりと自分らしさでのびやかに生きられるまちにかえる

まちづくりのしくみを市民主体にかえる

2. いいやまづくりの基本方針 ----- 8

元気でたくましい「いいやま」にかえる

知恵と工夫があふれ、活力がみなぎるまち

いいやまの宝を財産にかえる

いいやまらしい「宝」を楽しくつたえるまち

空と大地にとけ込む心地よいまちにかえる

多彩な自然によりそいながら、質にこだわる快適なまち

思いやりと自分らしさでのびやかに生きられるまちにかえる

それぞれの人生のステップを安心・充実してすごせるまち

まちづくりのしくみを市民主体にかえる

市民が自ら政策をつくる成熟したまち

3. 宣言を実践にむすびつけるために ----- 18

さあ、これからが、新しい時代のまちづくりのはじまりです

わたしたちの飯山は、千曲川の流れと山々の自然にいだかれて、
ずっと昔から『ふるさとのあたたかさ』のあるまちでした。

人口は減っていますが、
飯山の寺町、仏壇街、菜の花、そして自然風土に魅せられる人は多く、
たくさんの人々をいやせるまちとして、
あらためて飯山の『宝』の価値が認められるようになってきました。

そしていま、地域をこえて「いいやまの魅力」を発信し、
たくさんの『宝』にふれるために、
全国各地から人々がやってくる条件が整ってきています。

さあ、これからが新しい時代のまちづくりのはじまりです。
かけがえのないわたしたちのふるさとを、50年、100年と輝きつづけるまちに…

わたしたち飯山市民はひとつの大家族
みんなで助けあい、手を取りあって自慢のわがまちをみがいていきましょう。

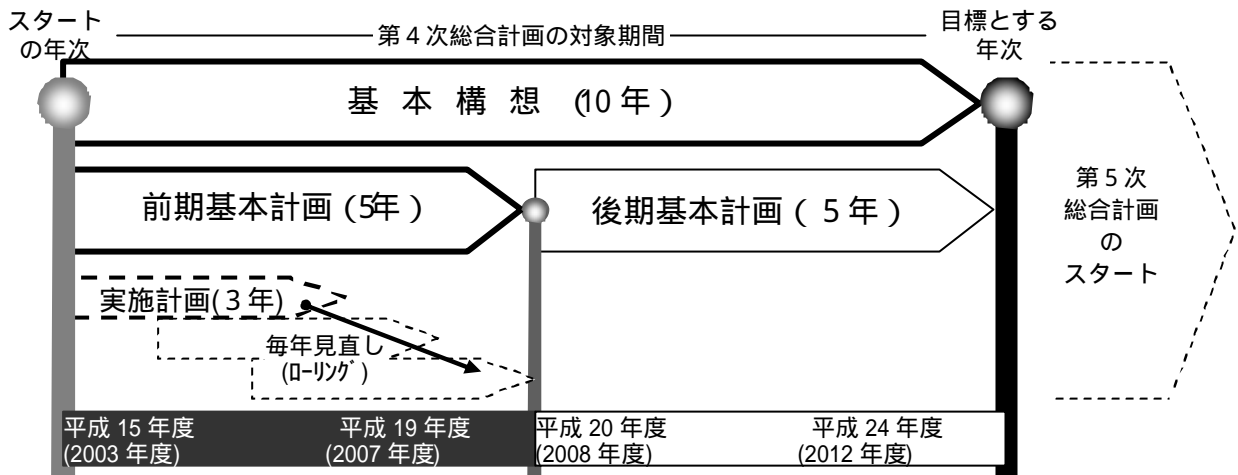
21 プラン市民会議 委員一同



飯山市第4次総合計画の性格と視点

飯山市第4次総合計画とは？

ふるさとの宝を大切につたえ、
いま、そして50年・100年後にも輝きつづける『いいやま』にかえる・・・
そのために、いま、なすべきことを着実に実行できる10年プラン。
それが飯山市第4次総合計画です。



飯山市第4次総合計画の視点

わたしたちのまち飯山は、これまで、第1次から第3次の総合計画を通じて、人口の減少や若者の流出の問題、そして克雪などに取り組み、助けあいながら、都市としての利便性、産業基盤を整え、豊かな自然や寺町をはじめとする伝統文化を活かして、あたたかなふるさどをつくってきました。

- 第1次総合計画 「住みよいふるさとの園」(昭和48～57年度)
- 第2次総合計画 「自然と文化が調和するふるさと定住都市をめざして」(昭和58～平成4年度)
- 第3次総合計画 「ゆとり生むまち 新・生活実感都市をめざして」(平成5～14年度)

そして、新しい時代、大切にしたいこと

成熟した市民社会

信頼感と協働、まちを育てる熱い思い

いいやまの元気

力強い地域経済・あふれる創意・実行する力

《キーワード》 地方が主役・地方の自立、知恵と工夫、本当に必要なものを見極める眼、まちのにぎわい、新幹線・高速道路・インターネット

こだわりのまち

ゆとりとうるおいのある心地のよいまち

《キーワード》 環境にやさしい、雪と災害につよい、バリアフリー、便利な交通、まちづくり

いいやまらしい誇り

楽しくつたえるいいやまの『宝』

《キーワード》 寺町・城下町、農村の風景、暮らしの文化
ふるさとのあたたかさ、ホンモノの季節感
文学、五感で体験・理解、自然・風土を楽しむみがかれた感性

伸びやかな人生

こころ穏やかなあたたかい暮らし
さまざまな生き方の選択

《キーワード》 ふるさに根をはる、ゆったり子育て、自分らしい充実の人生、すこやか・いきいき、どんな差別もなく・・・、男女ともに

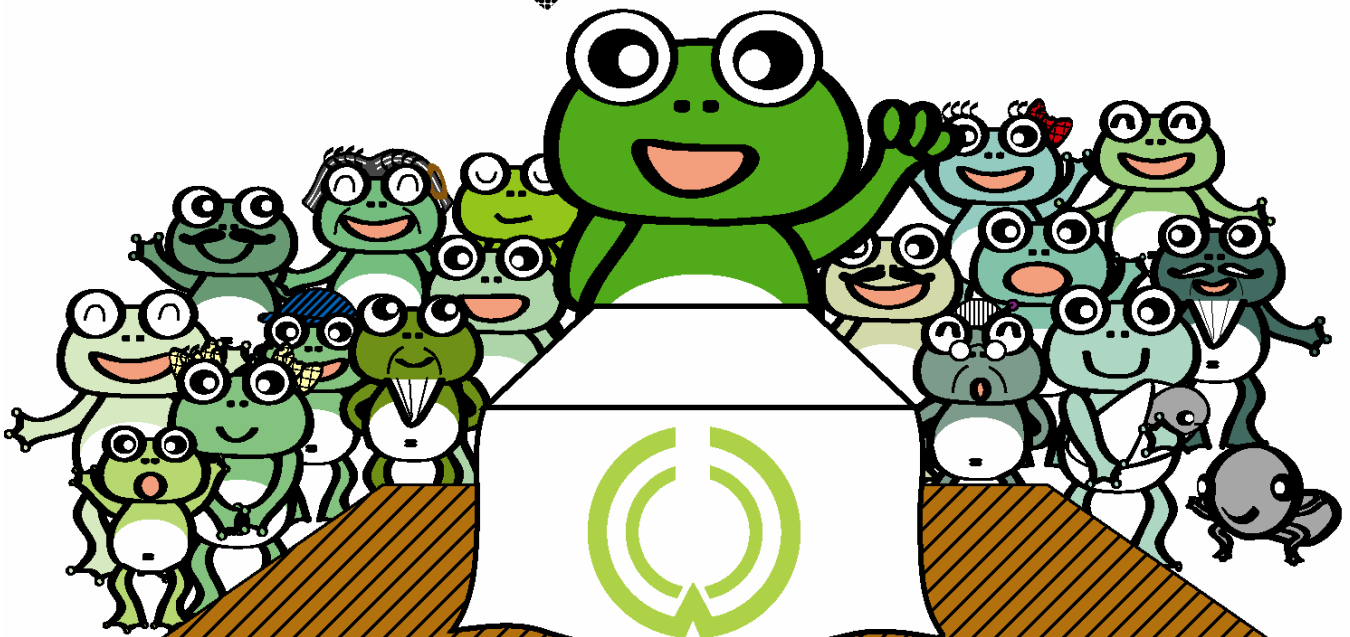
飯山市第4次総合計画 基本構想

かえる



輝け いいやま！ 宣言

おらもやる あんたもやるうや
いいやまづくり



自分らしく、そして誇りをもってのびのびと人生を過ごせるまち
それは、四季に愛され、ふるさとのあたたかさのある飯山にこそある。

わがまち飯山は、そんなふうに見えるまちにしていきたい。
そして、そんなまちをつくっていくのは、わたしたち市民ひとりひとりなのです。

わたしたちは、もっともっと五感をつかって飯山のことを知り、理解します。

ときには、これまで当たり前と思っていた価値観、固定観念、慣習を見直し、
新しい社会につくりかえることもおそれずにチャレンジします。

ふるさとの宝を大切につたえながら、
いま、そして50年後、100年後にも輝きつづける飯山にかえる。

すこしでも便利になること、都会のように何でもそろっていること・・・
そのことだけにとらわれずに、
ほんとうに飯山が好きで、こころ豊かに暮らし、
将来の人生設計に自信をもてるように・・・

おらもやるから、あんたもやろう！
ひとりひとりの小さな力を大きな輪にひろげ、
みんなで自慢のわがまちをみがき、
未来のこどもたちへ、自信をもってつたえていこう！

さあ、
新しい時代のまちづくり



かえる



輝け いりやま! 『宣言』を
ひとつひとつ実行していく「5つのかえる」が
未来の子どもたちへの贈りものとして、われわれがめざす飯山の将来像です。

未来の子どもたちへの贈りもの『5つのかえる』

元気でたくましい『いりやま』にかえる

【将来像】知恵と工夫があふれ、活力がみなぎるまち



高速交通網を活かすことで
飯山の経済は力強くなる
創意工夫で、市政も自立させていこう

元
気

いりやまの宝を財産にかえる

【将来像】『いりやまらしい宝』を楽しくつたえるまち

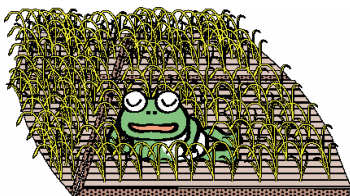


ひとりひとり、たくさんの宝の魅力を五
感で理解し、子どもたち、都会に暮らす
人々にも体験してもらおう。

宝
もの

空と大地にとけ込む心地よいまちにかえる

【将来像】多彩な自然によりそいながら、質にこだわる快適なまち

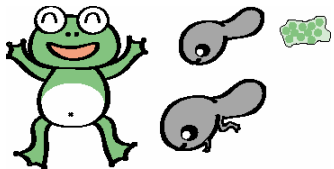


たくさんの生き物にとって心地よいところは、
人も心地よい
お年寄りや子ども、身体の不自由な人にとって
安全で快適なまちは、
すべての人にとっても安全で快適
飯山のまちは、こんなまちにしていこう

ス
ロ
ー
ラ
イ
フ

思いやりと自分らしさでのびやかに生きられるまちにかえる

【将来像】それぞれの人生のステップを
安心・充実してすごせるまち

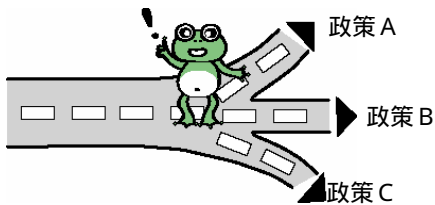


ふるさとのあたたかなところで、
自信をもって生涯をすごせる飯山
をつくろう

親
切

まちづくりのしくみを市民主体にかえる

【将来像】市民が自ら政策をつくる成熟したまち



市民と市が「協働するまちづくり」
の経験を積んで
しくみをつくっていこう

市
民
が
主
役

2 いいやまづくりの基本方針

わたしたちがめざす『5つのかえる』

10年間の「いいやまづくり」は、その道すじにそって展開していきます。

元気でたくましい「いいやま」にかえる
知恵と工夫があふれ、活力がみなぎるまち

【まちづくりの目標】

創意工夫を重ね、実現する力をたくわえる
地域の自立と地域経済の再生を進める

わたしたちのまち飯山は地方の一都市です。

これまでは、全国各地と同じような考え方でまちづくりを行わなければならないことも多く、「飯山らしい」知恵と工夫を発揮するには制約がありました。

これから地方分権⁽¹⁾が進むなかでわたしたちは、国や県と対等な関係で協力しあい、独自の考え方で飯山の魅力を最大限に活かして、自立したまちづくりを進めていくことができます。

市町村ごとに知恵をしぼり、創意あふれるまちづくりを行うことで、特色のあるまちができます。幸いにも飯山市は、上信越自動車道・北陸新幹線など多くの人々が全国から訪れるだけの交通の便に恵まれています。

このような条件を活かしながら、市民も、飯山を訪れる人も力をあわせ、工夫を重ねて誇れるものをつくっていき、わたしたちのまち飯山をもっともっと元気で、もっともっと愛されるまちにしていかなければなりません。

地域経済も厳しい状況が続くことが予想されます。わたしたちにとって何がほんとうに必要なことを責任をもって見極めて、着実に実現することのできる力をたくわえていきます。

21世紀は旅産業の時代です。農業も商業も工業も観光も、すべての産業がいきづくまちづくりを進めます。

(1)地方分権

さまざまな権限の移譲により、国・県と地方自治体の「上下」関係を「対等」なものに転換することを目的としています。住民に最も身近な地方自治体は、「地方分権一括法」の成立によって、『自己の決定』と『自己の責任』のもと財政的にも自立し、創意工夫の競い合いのなかで活力ある地域社会を形成していくこととなります。地方への権限移譲は、同時に事務量の増加をもたらし、自主財源の必要性も高まってきます。（「地方分権一括法」：平成11年7月成立）



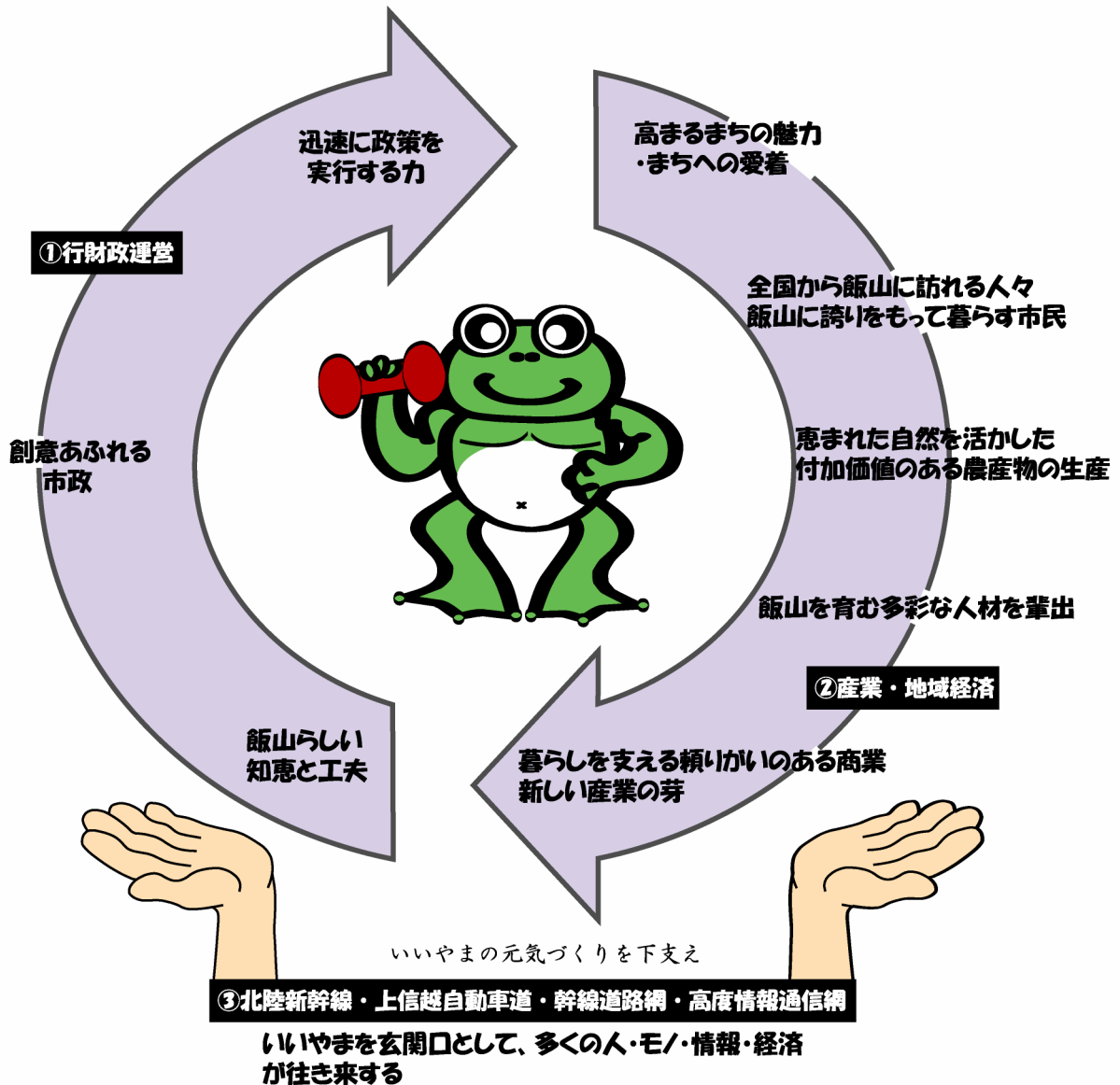


目標が達成できたかどうか、
こんなところで見てみよう！

◇創意工夫を重ね、実現する力をたくわえる
行財政指標、政策評価実施状況、各種事業・計画の達成状況
など

◇地域の自立と地域経済の再生を進める
地域経済指標、農林業統計、商工業統計、交流人口、
産業立地状況、中心市街地の集客力 など

高速交通網を活かすことで
飯山の経済は力強くなる
創意工夫で、自立していこう



いいやまの宝を財産にかえる
いいやまらしい「宝」を楽しくつたえるまち

【まちづくりの目標】

「いいやま」を知り 理解し、守る
無理なく、未来に「宝」をつたえるしくみをつくる

飯山には、日本のふるさとを連想させる美しい風景があります。

そして雪から菜の花、新緑、紅葉へと、つくりものでないホンモノの季節感を
感じながら、四季折々の豊かな恵みを味わうことができます。

それは、いまもかわらない山々の稜線を眺めながら、わたしたちの先人がつく
りあげてきた里山や田園の恵みでもあります。さらには、そこにつちかわれた寺
町の風情や伝統工芸、地域それぞれに根づいた暮らしの文化があります。

そのひとつひとつが飯山のかけがえのない「宝」であり、多くの文学や映画に
も描かれるように、たくさんの人々のところをとらえて離さない魅力でもありま
す。

ひとりの力は小さくても、みんなが愛着をもつ大切な「宝」ですから、市民ひ
とひとりひとりが知り、理解し、力をあわせれば、守っていけるはずです。

わたしたちの大切な「宝」を未来まで無理なくつたえていくために、みんな
で楽しみながら知恵を出しあい、経済的にも守る価値をもった「財産」として活か
していくしくみをつくっていきます。

将来もかわらずに、地域の子どもたち、都会に暮らす人々を楽しませ、こころ
をいやしてくために・・・



目標が達成できたかどうか、
こんなところで見てみよう！

◇「いいやま」を知り、理解し、守る

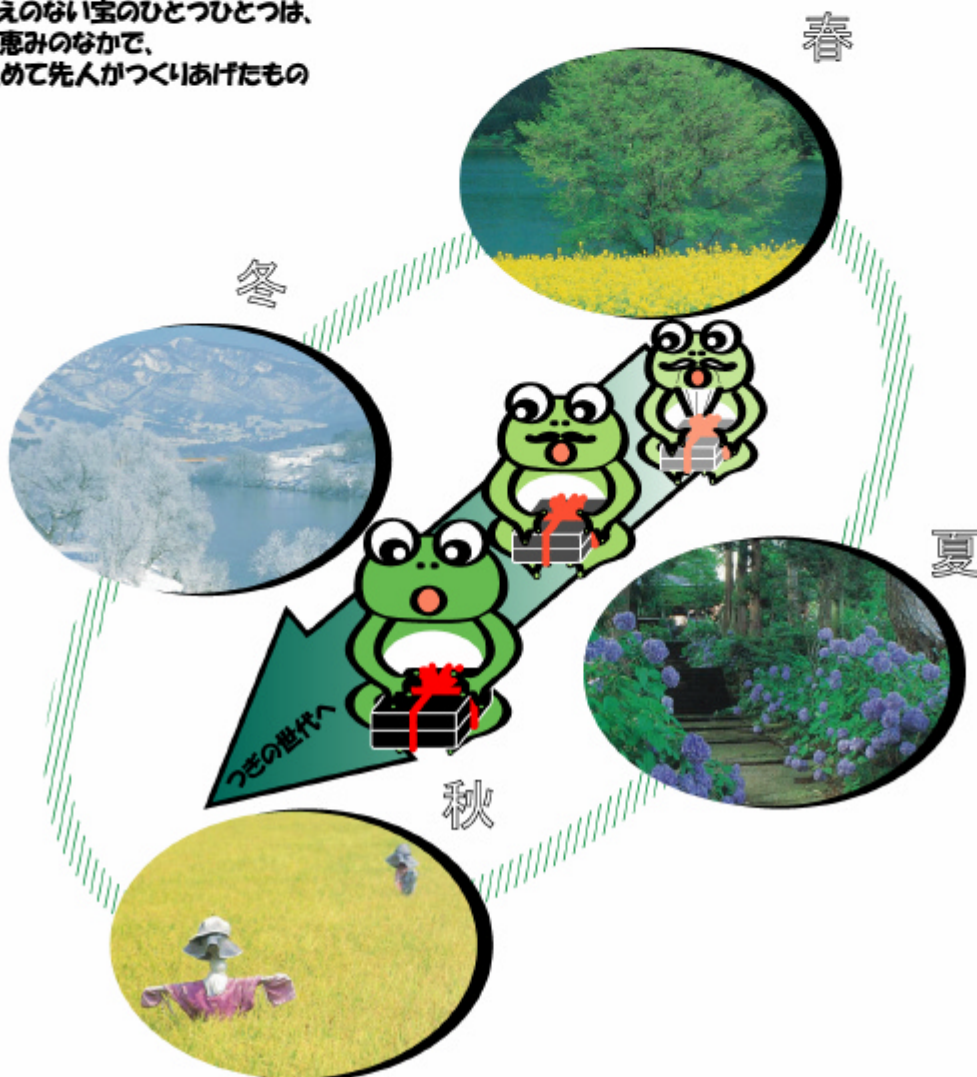
観光客数・観光消費額、自然にふれる人の数、
宝の掘り起こしとPRの状況、知り理解する機会と人材、
伝統工芸を守りつたえる人の数、芸術文化にふれる人の数、
まつり・行事の開催状況 など

◇無理なく、未来に「宝」をつたえるしくみをつくる

里山・田園等の保全制度の制定状況、特産品の販売状況・消費量
など

ひとりひとり、たくさんの宝の魅力を五感で理解し、
こどもたち、都会に暮らす人々にも体験してもらおう。
観光・農林業・伝統産業など総力をあげて「多彩な体験・旅産業」を確立し、
素晴らしい風景や里山、田園、伝統と文化を活かす手だてをつくっていこう。

かけがえのない宝のひとつひとつは、
自然の恵みのなかで、
丹精込めて先人がつくりあげたもの



空と大地にとけ込む心地よいまちにかえる

多彩な自然によりそいながら、質にこだわる快適なまち

【まちづくりの目標】

恵み豊かで厳しい自然環境と共生するまちをつくる

日常生活の安全性・快適性を高める

ゆとりあるまちをつくる

おいしい水と空気、青い空、木々の緑、様々ないきものたち・・・

わたしたちは、自然からたくさんの豊かな恵みをもって心地よく暮らしてきました。

これからもかわらずに豊かな恵みを受け続けるため、わたしたちの生活が自然環境をこわさないよう、空と大地にとけ込むようにまちをつくっていきます。

そしてわたしたちの生活の場では、安全・快適・ゆとりの視点からまちの質にこだわり、まちづくりを進めます。

「安全」という質

- ・ 災害や事故、犯罪から市民の生命・財産を守ることのできる安全性
- ・暮らし(食、環境など)の安全性

「快適」という質

- ・ひとりひとりの生き方にあった^{すまい}住宅で暮らせる快適さ
- ・市内をスムーズに移動できる快適さ
- ・まちに緑や公園のある快適さ
- ・公共サービスを平等に受けられる快適さ

「ゆとり」という質

- ・冬場でも安心して暮らせるゆとり
- ・無事で前向きで落ち着いているまちづくり



目標が達成できたかどうか、
こんなところで見よう！

◇恵み豊かで厳しい自然環境と共生するまちをつくる

森林面積、湧水量と水質、川や湖沼の水質、土地利用規制の状況、
ごみの排出量・リサイクル率、二酸化炭素の排出量、
不法投棄の状況 など

◇日常生活の安全性・快適性を高める

災害危険箇所数、災害時の活動者数、交通安全・犯罪の状況、
防災対策の進捗状況、都市計画の実施状況、市民の居住水準、
まちなみに対する満足度、公共交通の利用状況、公園や緑の量、
生活排水の衛生処理状況、汚水処理状況 など

◇ゆとりあるまちをつくる

バリアフリー化の進捗率、ユニバーサルデザインの導入状況、
雪対策の状況 など

たくさんの生き物にとって心地よいところは、
人も心地よい



飯山のまちは、こんなまちにしていこう



お年寄りやこども、身体の不自由な人にとって
安全で快適なまちは、すべての人にとっても安全で快適

思いやりと自分らしさでのびやかに生きられるまちにかえる
それぞれの人生のステップを安心・充実してすごせるまち

【まちづくりの目標】

ふるさとに根をはり 自分らしい生き方で、いきいきとすごせるまちをつくる
人を思いやり、こころ穏やかに人生をすごせるまちをつくる

飯山市は日本のふるさとのイメージ

ふるさととは、人を包みこみ、ほっとさせてくれるところ

わたしたちが飯山に根をはり、ふるさとに愛着をもって暮らし続けるためには、夢のある確かな人生設計を描けるような社会でなくてはなりません。

そのために、こころ豊かに育ち、生きる術を身に^{すべ}つけ、余暇を楽しみ、こどもを育て、歳をとっても穏やかに生きていけるまちにしていきます。

そして、いったんは飯山の外で暮らしても、いつでも帰ってこられるようなあたたかなふるさとであり続けたい。

わたしたちは、お互いに思いやり、助けあう親切な心を持ちながら、ずっと昔から厳しい自然とむきあいながら暮らしてきました。

これからもずっと、どんな差別もなく、ともに学び、地域ぐるみで助けあい、自分らしくのびのびとした生き方を見つけられる社会をつくっていきます。

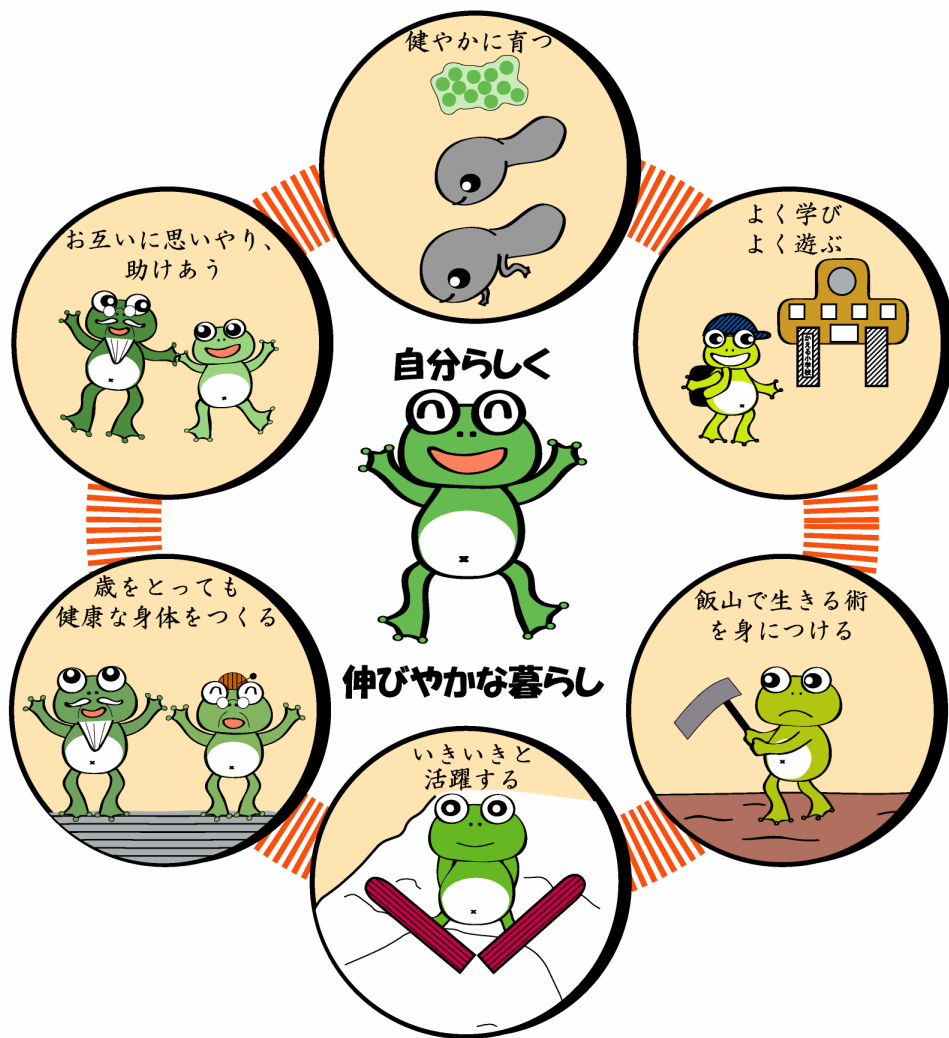


目標が達成できたかどうか、
こんなところで見よう!

◇ふるさとに根をはり、自分らしい生き方で、いきいきとすごせるまちをつくる
 学校教育の満足度、雇用・就業機会、起業家数、市内就業率、
 転入人口・人口構成、子育て支援サービスの充実度、余暇の過ごし方、
 差別・固定的な性別役割分担意識の状況、働く女性の就業環境、
 政策・方針立案への女性の参画率、生涯学習機会の数と参加人数、
 スポーツを行う人の数、世代間交流の状況、高齢者・障害者の活躍の状況
 など

◇人を思いやり、こころ穏やかに人生をすごせるまちをつくる
 医療の充実度、地域福祉を支える人の数、福祉サービスの状況、
 ボランティア団体やNPOの活動状況、介護保険制度の運営状況
 など

ふるさとのあたたかなところで、
自信をもって生涯をすごせる飯山をつくろう



まちづくりのしくみを市民主体にかえる
市民が自ら政策をつくる成熟したまち

【まちづくりの目標】

情報伝達の機動力を高める
市民と市の双方向のコミュニケーションを推進する
市民が活躍する場をつくる

市民が実現したいことと、市役所がこれからやろうとしていること
互いが一致してこそ、満足度の高いまちづくりが進んでいきます。

双方向のコミュニケーションが、市民と市役所の信頼関係をつくり、
まちづくりはきめ細やかに進んでいきます。

市民参加から市民参画

そして、市民と市が、ともに知恵と力をだしあい、「協働するまちづくり」⁽²⁾
がこれから求められます。

必要な情報を必要なときに手に入れる

ひとりひとりが意思をもって発言する

みんなの想いをひとつの結晶にする

自ら政策を決定し、みんなの納得のもとに実行する

先頭に立って活躍し、まちづくりの輪をひろげる

市民ひとりひとりが飯山を育てている実感

たくさんの場面でそんな実感をもてるまちづくりを進めていきます。

²⁾市民と市が「協働するまちづくり」

市民と市が適切な連携と役割分担のもと政策をつくり、知恵と力を出しあって実行することを「協働のまちづくり」と言います。これまでは、市民が市政に意見や要望を述べるような「市民参加」や、総合計画など市が定める計画づくりに市民が「参画」するなど、市が政策を決定するなかで、市民の意向を反映するような工夫がなされてきました。今後は、市民と市の相互の信頼のもと、地方分権時代の成熟した市民社会を築くために、このような「協働のまちづくり」を進めていくことが求められています。





目標が達成できたかどうか、
こんなところで見よう！

- ◇情報伝達の機動力を高める
市民への情報通信手段、HPのアクセス数、情報公開の状況、
イベントへの参加状況 など
- ◇市民と市の双方向のコミュニケーションを推進する
活性化センターの役割、市民と市の意見交換の機会、市民の要望への対応
など
- ◇市民が活躍する場をつくる
地域活動の状況、地域づくりへの市民参画の機会、市民への活動支援状況、
市民発意の条例・計画づくりの状況 など



市民と市が「協働するまちづくり」の経験を積んで
しくみをつくっていきこう

3 宣言を実践にむすびつけるために

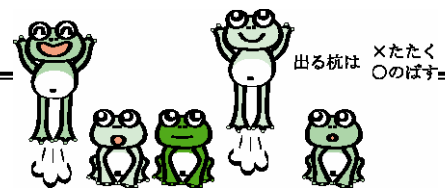
「いいやまづくりの基本方針」で掲げたまちづくりの目標を達成するために、みんなで、つぎのような心構えで具体的にまちづくりを進めよう！



【暮らしに即、効き目のある地域づくり】

身近な問題を解決するための政策を、効率的に、わかりやすく実施する

- ・ 社会経済情勢の変化や複雑化する行政課題に素早く対応できるよう、分野横断的な政策を効率よく展開します。
- ・ これまでに整備された道路・橋・公共施設などの「ハード」を充分活かし、暮らしに必要なものは整備しつつも、市民の生活に身近な問題に直接的に対応できるようソフト（公共サービス/体制・人材/制度/市民の活動）・ハート（意識/意欲）を充実させていく政策を重視します。
- ・ 地域づくりの経過・成果を目に見えるよう情報を公開します。



【協働による市民と市のまちづくり】

市民・地域のやる気を導き出し、市と「協働するまちづくり」を進める手順・方法を明らかにする

- ・ 画一的、横並びではなく、頑張る意志・意欲・実績を持つ市民がより頑張ることのできるような体制をつくり、先頭に立って行動する市民やNPO団体を応援します。
- ・ 市民と市がどのような場面でどのように力をあわせ、まちづくりを進めていくのか、必要な手順や方法のルールを定め、運用します。



【男女共同参画】

多彩な人材の知恵と実行力を結集し、地域づくりの個性を際立たせる

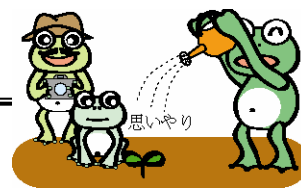
- ・ 男女共同参画などによって、多彩な人材が集まり、知恵と実行力を出しあえる場面を数多くつくり、飯山ならではの個性ある地域づくりを進めていく原動力としていきます。



【北陸新幹線開業と環境との共生をステップとした地域づくりの新たな展開】

いち早く、新幹線駅を中心に、訪れる人々を迎え、
回遊して楽しめるまちづくりに着手する
旅を満喫し、出会いの楽しさと自然にとけ込んだ穏やかな暮らしを
提供できる「旅・体験・暮らし」の産業を育てる

- ・新幹線駅を中心に、中心市街地や観光地をむすんで回遊できるネットワーク整備にいち早く着手するため、構想から事業展開に至る道すじを確かなものにします。
- ・旅を満喫したり、自然や人々との出会いを楽しんだり、自然にとけ込んで穏やかに暮らしたいというニーズに応えるノウハウを蓄積し、「旅・体験・暮らし」の産業として育てる体制を整えます。
- ・心地よい旅・体験・暮らしを提供できるまちとして、環境との共生を地域づくりや市民生活、企業活動の大前提として位置づけます。



【親切で心が通いあう地域づくり】

ひとりひとりの「思いやり」を育てることから、
人を惹きつけ、ふれあい、創造し、元気が出る地域づくりをはじめ


- ・子育てから学校教育や地域での活動、生涯学習まで地域一体の人づくりを通じて、ひとりひとりの「思いやり」を育てます。
- ・ひとりひとりの「思いやり」が人を惹きつける吸引力となり、潤滑油となって地域の活力をつくりだす、心の通いあう地域づくりを進め、全市に広がっていきます。
- ・市も「日本一親切な市役所」を目指して、思いやりあふれる行政サービスを率先して行います。



【評価と反省の積み重ねと進むべきみちの選択】

市政をつねにふりかえり、
成果を評価しながら、より望ましいものに改善していく

- ・掲げた政策、実施した事業をつねにふりかえり、市民と市がくりかえし評価と反省を行うことで、無駄と間違いのない信頼感のある市政を育てます。

おらもやる あんたもやろうや いしいやまづくり
かえる
輝け いしいやま！  宣言

飯山市第4次総合計画

基 本 構 想

平成15年度～平成24年度
(2003年度～2012年度)

平成15年2月

構想：21プラン市民会議

発行：飯山市 編集：飯山市 総務部企画財政課

〒389-2292 飯山市大字飯山1110-1

TEL.0269-62-3111(代表) FAX.0269-62-5990

E-mail: kikaku@city.iiyama.nagano.jp

協力：パシフィックコンサルタンツ株式会社